

# 奈良県高齢者福祉計画及び第6期奈良県介護保険事業支援計画の概要

## ■現状と課題

**【奈良県の高齢化の状況】**

- 団塊の世代の方が多く居住
- 全国平均を上回る高齢化の進展  
奈良県 27.2% 全国平均 26.0% (H26)
- 高齢化の県内格差が2.7倍  
最大 川上村56.0% 最小 香芝市20.6% (H26)
- 全国平均を下回る要介護認定率  
奈良県 17.9% 全国平均 18.1% (H25)
- 全国平均を下回る一人あたり介護給付費  
奈良県 240,409円/年 全国平均 263,005円/年 (H24)
- 全国平均を下回る一人あたり後期高齢者医療費  
奈良県 920,451円/年 全国平均 929,619円/年 (H25)
- 高齢化に伴い認知症高齢者も増加傾向

高齢化の更なる進展への対応

**【県民調査の結果】**

- 「自宅で最期を迎えたい」「介護が必要になったら自宅で受けたい」との希望が多い。
- 高齢者のみの世帯が多く、家事について将来の不安を抱えている。
- 認知症の家族のことで悩みを抱える人が多い一方、認知症への備えがされていない。
- 介護現場では、医療機関から疾患のケアや健康に関する情報提供を求めている。
- 介護現場では人材が不足している。
- 健康な人や外出頻度の高い人ほど生活の充実感が高い。

県民ニーズへの対応

**【介護保険制度の改正】**

**○「地域包括ケアシステム」の構築**

- ・地域支援事業の充実  
在宅医療・介護連携の推進、認知症施策の推進、地域ケア会議の推進、生活支援サービスの充実・強化
- ・予防給付（訪問介護、通所介護）の地域支援事業への移行
- ・特養入所者を要介護3以上に限定

**○「費用負担の公平化」**

- ・低所得者保険料の軽減強化
- ・一定以上所得者の自己負担引き上げ

介護保険制度改正への対応

## ■奈良県の高齢者施策

### ★現在の主な取り組み

- 県内すべての市町村における**地域包括ケアシステムの構築を推進**
  - ・「地域包括ケア推進室」の設置(H26.4)
  - ・市町村に対する介護保険データの「見える化」支援
  - ・モデル事業の実施
  - ・地域密着型サービスの普及促進 など
- 「**健康寿命日本一**」をめざした**取り組みを推進**
  - ・介護予防に役立つ健康づくり
  - ・高齢者の生きがいづくり など

- 現在の取り組みをより一層推進
- 団塊の世代が後期高齢期に達する10年後を見据えた**中長期的な視点**での計画策定

### ★第6期計画における施策の展開(平成27年度～平成29年度)

